

曾根干潟のヘナタリの研究。絶滅
危惧種の巻貝の生態観察に、高校
生活全てを捧げる。命の不思議さ
や尊さを多くの人に知らせよう。
そして、将来は宇宙ステーション
で、人々の命を救うため、生物の
実験に打ち込みたい。

DREAM100大賞

渡邊 侑子さん(明治学園中学高等学校3年)

DREAM100特別企画

受賞高校生が、夢を語る。

スポーツで人間育成をする九州国際大学

アスリートたちの夏。

作文コンテストで見つけた、 夢・未来。

九州国際大学が開学100年をめざして、毎夏企画している「DREAM100作文コンテスト」。
3回目の表彰式が9月2日に行われ、受賞者4人に喜びの声を聞きました。

自分と向き合う先に、
受賞の喜びがあった。

大賞を受賞した渡邊侑子さんは、中学の頃から読書感想文などを投稿してきましたが、受験生である今年は応募は難しいとあきらめていました。ただ、インターネットで見つけた1000文字という課題に心が動き、同じ高校に通う妹とチャレンジすることにしました。「小学校では蜜の研究、今は生物学習実習で曽根干潟のヘナタリ



1000文字に仕上げる作業。すると不思議なことに、自分のしたいことが明確になってきたのだとか。「自分に何が重要なのかを学ぶいい機会になりました」。研究を通して、将来は国際貢献できる仕事に就きたいと決意も新たにしました西種子田さん。この作文で、文章の力、将来を考える力、自分を見つめることの重要性を学んだようでした。

インターネットを見て応募したひとり。日頃は、好きな両生類のことに没頭し、それ以外は高校生活を謳歌しているという実感がまったくなかったと言います。ただ、本当に自分に渴を入れようと、本を書いたこと、できることは何かを書いてみると2000文字を超えました。その後は、大切なワードを残し無駄な文字を削って



読売新聞西部本社賞

西種子田 稜さん

(山口県/高川学園高等学校2年)

ア	フ	リ	カ	の	砂	漠	に	木	を	植	え	た	い	。
僕	は	今	、	科	学	部	で	オ	の	サ	ン	シ	ョ	ウ
ウ	オ	を	保	護	す	る	た	め	の	研	究	を	し	て
い	る	。	ど	ち	ら	も	人	間	の	状	況	を	悪	化
い	さ	せ	た	。	そ	れ	を	、	人	間	が	元	に	戻
の	だ	。	僕	は	決	め	た	。	木	を	植	え	る	。
美	し	い	緑	の	た	め	に	。						



DREAM大賞

渡邊 侑子さん

(福岡県/明治学園中学高等学校3年)

曾	根	干	潟	の	ヘ	ナ	タ	リ	の	研	究	。	絶	滅
危	惧	種	の	巻	貝	の	生	態	観	察	に	、	高	校
生	活	全	て	を	捧	げ	る	。	命	の	不	思	議	さ
や	尊	さ	を	多	く	の	人	に	知	ら	せ	よ	う	。
そ	し	て	、	将	来	は	宇	宙	ス	テ	ー	シ	ョ	ン
で	、	人	々	の	命	を	救	う	た	め	、	生	物	の
実	験	に	打	ち	込	み	た	い	。					



書くことで、
将来や夢が見えてくる。

学校内の小論文コンテストで学年1位になった実績がある大川早織さん。文章で表現することが大好きで、ふだんから書きたいことは山ほどあると笑います。今回、FBS福岡放送賞に輝いたのは、夏の豪雨で甚大な被害を受けた祖父母への思いでした。夏休みには家族で祖父母の住む阿蘇に行き、

家の後片付けを手伝いました。想像を超える被害状況を前にした時、「将来は人の役に立つ仕事をしたい」と、〇〇したいこと、できること〇〇が見つかったと言います。いろいろなることがあったこの夏、この賞はきつと祖父母の励みになると笑顔で浮かべてくれました。

選考委員会特別賞を受賞した梢菜那子さんは九州大付属高校の2年生。ふだんから国語の授業で小論文や作文の1000文字要

約の授業を受けているのだとか。「国語の先生は気合が入っていて、予習復習も半端なくハードな授業です」と言いながら、どこか楽しそう。今回の課題では、法律系の仕事に就く夢を書きました。法律家の仕事は人の意見の違いや、正しいことを見極める目を養うことが大切で、実現までの難しさも承知しています。でも、自分の主張を作文にすることで夢が具体的にになり、受賞を喜んでくれた人たちの期待に応える努力をしたいと話してくれました。

4人の受賞者それぞれの夢が、100文字にぎゅつと凝縮され、輝いていた今年のコンテスト。これが将来について考える機会となり、夢に向けて大きく前進したみなさんの今後が、本当に楽しみです。



Dream 100 2012作文コンテスト

テーマ

「できること、したいこと」

～高校生だからできること、したいこと、チャレンジできることを将来の目標も含めて教えてください～



九州・山口の高校生に将来の夢や人生の目標を語ってもらおうと、九州国際大学は毎年、100文字の作文コンテストを開催しています。3回目を迎える今年は昨年度を1,300人以上も上回る33校5,889の夢が寄せられました。このコンテストは高校生に、進路や目標を考える時間を持ってもらうことや、文章表現力を養って欲しいという思いから企画。九州国際大学はこれからも「夢を育てる大学」として、次代を担う若者の声に耳を傾け、実現をサポートしていきます。



選考委員会特別賞

梢 菜那子さん

(福岡県/九州国際大学付属高等学校2年)

私	は	裁	判	官	に	な	り	た	い	。	全	て	の	も
の	を	善	と	悪	に	区	別	す	る	の	は	不	可	能
だ	が	、	そ	れ	で	も	世	界	に	は	間	違	っ	た
判	断	が	多	す	ぎ	る	。	私	は	読	み	、	聞	き
、	思	考	を	繰	り	返	し	、	答	え	を	導	き	出
せ	る	よ	う	に	な	っ	て	、	悪	を	見	逃	さ	な
い	世	界	を	創	り	た	い	。						



FBS福岡放送賞

大川 早織さん

(熊本県/鹿本高等学校2年)

7	月	12	日	の	豪	雨	で	私	の	育	っ	た	大	好
き	な	町	が	大	き	な	被	害	を	受	け	た	。	お
じ	い	ち	ゃ	ん	、	お	ば	あ	ち	ゃ	ん	の	笑	顔
が	消	え	た	。	私	に	は	何	が	出	来	る	の	だ
ろ	う	。	も	う	一	度	、	み	ん	な	の	笑	顔	が
見	た	い	。	ポ	ラ	ン	テ	ィ	ア	に	積	極	的	に
参	加	す	る	!										



選考委員

堀田 泰司 (九州国際大学学長)

大学教育において、学生の読み書き能力の低下が指摘されています。専門教育にスムーズに移行するためにも、中等教育でその能力をぜひ身につけて欲しい。このコンテストはそんなメッセージを高校と高校生に発信する場でもあります。回を追うごとに応募作も増え、作品のレベルも上がってきています。特に今年は、昨年の震災で家族の絆をテーマにしたものから、「自分たちはどうしたらいいのだろう」と一歩踏み込んだ内容の作品が多く、日本の将来に光を見た気がします。

社会貢献事業・中等教育の活性化を願って。



選考委員長

佐木 隆三氏 (作家・九州国際大学客員教授)

東日本大震災が発生した昨年は、家族や絆をテーマにした作品が目立ちましたが、今年は環境問題やボランティア活動など多岐にわたっていました。相次いで起きた「いじめ事件」や裁判員裁判など、社会の現況を反映した作品も目につきました。夢を語り、将来に思いをはせることは、自らの今を見つめることにつながります。少子高齢化など日本の状況は厳しさを増すばかりですが、日本の未来を支えるのは、若者たちであることに間違いありません。

頼もしく感じました。

日本の未来を支える若者たちへ。

「年々作品のレベルが上がっている」と口を揃える選考委員のみなさんから、メッセージをいただきました。



選考委員

松吉 ゆかり氏 (FBS福岡放送アナウンサー)

100字をニュース原稿にすると、ほんの15秒か20秒。その短さのなかで九州北部豪雨のことを書いた大川さんの作品は、ストレートに思いが伝わって、印象に残りました。最後が「する！」と宣言で終わっている点や「！」に、強い意志を感じます。

自己中心的になりがちな社会で、人のために行動したいと考えている高校生がいるのは心強い限り。その気持ちを将来、どんな道に進んでも大切にしてください。

強い意志とやさしさが感じられる作品。



選考委員

時枝 正信氏 (読売新聞西部本社編集委員)

資格試験について書いた作品も多く見受けられました。資格を持っていれば就職に有利だと考える若者も多いようですが、大学生の就職事情に詳しいジャーナリストの石渡嶺司氏は、旅行や読書を重要な資格としたうえで、幅広い教養を身につける大切さを著書の中で語っています。読むこと書くことは、教養の基本です。作文コンテストがその一助となり、多くの若者が、国際的な視野を持ち、さまざまなことに挑戦していつてくれることを願っています。

幅広い教養の一步に。

DREAM100は生徒たちが、 将来を考えるきっかけになっています。



九州国際大学附属高等学校 校長
伊東 正和

100字以内という制限の中で簡潔に夢や目標をまとめることは、生徒の文章構成力、表現力を養うのに適しています。文章化することで、夢や目標を具体的、視覚的に意識化できる効果も大きいと思います。

なにより書いた作品を作家の佐木先生や新聞社、放送局のアナウンサーなど、プロの方々に評価してもらえることも希少です。選ばれば自信につながります。いろいろな意味で、意義あるコンテスト。今後も積極的に参加していきます。

プロに評価される希少な機会。



鹿本高等学校 校長
田中 一則氏

本校では「読む力・書く力」の育成に努めており、このコンテストもその一環として2年生を中心に取り組んでいます。今年は3年生からも参加があり、全校で306人が応募しました。言いたいことを100字にまとめるのは、400字書くよりも難しいかもしれない。こうした機会を上手に使って、大学入試の小論文対策、さらに大学での勉強や社会に出てからも困らないような基礎力を、生徒たちに身につけて欲しいと考えています。

生徒の基礎力育成に活用。



最優秀学校賞

山口県／田部高等学校

優秀学校賞

福岡県／西南女学院高等学校
福岡県／福岡講倫館高等学校

学校賞


※順不同

【山口県】厚狭、早鞆、山口県桜ヶ丘【福岡県】冲学園、大牟田、折尾愛真、苅田工業、九州国際大学附属、九州国際大学附属(一貫部)、小倉商業、小倉南、純真、筑紫台、仰星学園、福岡常葉
【佐賀県】白石【大分県】東九州龍谷【熊本県】鹿本、高森【宮崎県】宮崎商業、宮崎南
【鹿児島県】樟南

詳しくはホームページに掲載中！

九国大 ドリーム100

検索



特集

アスリートたちの夏

肉体と心を、強く、しなやかに鍛え上げるスポーツ。

クラブ活動を通じて、生徒の人間的な成長をはかる、付属高校の夏を追いました。

クラブ活動が、
社会人としての素地を
つくる。

日本中を熱くした、ロンドンオリンピック。その舞台で、4人の九国大関係者が活躍しました。しかしこの夏だけが特別なわけではありません。九国大付属高校は「文武両道を実践する学校」として、常に全国大会で活躍するクラブや選手を輩出してきました。進学校として勉強に力を入れながらも、クラブ活動を積極的に奨励する。それは「学力を本当に伸ばすためには、人間的な成長が必要である」という考え方に基づいています。教頭（入試広報担当）の藤田信一郎は言います。

「限られた時間のなかでスケジュールを組んで、目標を達成していく。その習慣は受験勉強にももちろん、社会人となつてからも求められる能力です。クラブ活動はそのトレーニングを積むのに、最適な場。人生を有意義なものにするために大切なことを学べる時間なのです」。健康管理、意志の強さ、達成感、さらに失敗や挫折を味わい、そこから立ち上がる勇氣。現代の若者に一番必要な「心を鍛える」要素が詰まっているのが、クラブ活動なのです。特に今はスポーツにおいても、科学的理論が取り入れられていて、ウィークポイントの発見方法や課題を

克服していくためにどうすればいいかを段階的に考えることができます。社会人として働いている人なら、容易に想像できるでしょう。課題を発見し、問題解決の方策を探り、実行する。社会人として繰り返し求められる能力が、高校のクラブ活動で養われるのです。長い歴史と伝統から生まれた、文武両道。九国大付属高校では国立大学をめざす難関クラスでも勉強と部活を両立する生徒が多く、全校生徒の約半数がクラブ活動に参加しています。

**選手たちの活躍が、
愛校心を育てる。**

全国や世界で活躍する選手が身近にいることが、他の生徒に与える影響も小さくありません。甲子園で肩を組んで、校歌を歌う。その感動は一生ものです。オリンピックに出場するOBが母校を訪れ夢を追い続ける大切さを語れば、生徒たちは目を輝かせて話を聞きます。こうした経験は愛校心を育て、その制服を着ることが誇らしくなり自信にもつながります。胸を張って学校に通い、ふさわしい態度をとろうとする結果、社会の一員としての礼儀やマナーが身につけていきます。受験勉強一辺倒ではない、全人教育をめざす九国大付属高校。その熱い闘いに、今後も声援をお願いします。

スポーツも大学進学も めざすための、 トップアスリートクラス。

九州国際大学付属高等学校

「好きなスポーツで全国大会をめざしたい！」付属高校にはそんなアスリートのためのクラスがあります。一番の特長は、多くの生徒が大学進学をめざし、勉強にも力を入れていく点です。どんなに運動が得意でも、卒業後に全員がプロになれるわけではありません。当然、社会で活躍するためには大学進学も大切な選択肢だと考えるからです。そのためには、指導も厳しく、授業態度や試験結果が悪ければ、練習に参加することも許されないクラブもあります。どのク



ラブもスポーツ選手である前に、高校生や社会人としての礼節を大事にしているのは、3年後だけでなく生徒たちの10年後や20年後を見据えているから。ロンドンオリンピックでも活躍した、サッカー日本代表の永井謙佑選手も、この方針で学業との両立を工夫しながら福岡大学への進学を果たしました。また比較的、福岡県内の中学校から進学してくる生徒が多いのも特長。だからこそ地元から応援してもらえ、それが生徒たちのより高いステージをめざすモチベーションにもつながっていきます。



全国で活躍する選手を 多数輩出。 経済的なサポートも充実。

九州国際大学

九州国際大学には体育系と文化系合わせて40を超えるサークルがあります。ロンドンオリンピック日本代表の太田和臣選手を育てたウエイトリフティング部や、全国大会の常連であるバドミントン部、プロ野球選手を多く輩出している硬式野球部など。全国トップクラスと評価を受けるサークルも多く、「自分の力を試したい」「この監督の指導を受けたい」と、毎年日本中からアスリートを集めています。どのサークルにおいてもスポーツの成績だけでなく、最後の

教育機関として社会人基礎力の育成に努めています。きちんと勉強させることを基本とし、少人数ゼミなどで一人ひとりの学力や状況に合わせたきめ細かな指導を实践。授業料の一部免除など経済的なサポートがある「活動支援制度[※]」も用意し、がんばる学生を支援しています。またプラスバンド部で活躍したい学生のための奨学金制度もあります。詳しくは九国大入試・広報室（☎093・671・8916）までお尋ねください。

[※]九州国際大学が指定するスポーツサークルが対象です。



London



感動をありがとう！ロンドンオリンピック

バドミントン混合ダブルス

Badminton

池田 信太郎 選手 (1999年付属高校男子部卒業：日本ユニシス(株))

潮田 玲子 選手 (2002年付属高校女子部卒業：日本ユニシス(株))



「バドミントンはもちろん、勉強や人生についても教えていただきました。付属高校での3年間は人生の糧」と口を揃えます。

世界へはばたく卒業生たち。
ロンドンオリンピックのバドミントン混合ダブルスに出場した「イケシオ」は、共に付属高校の出身。6月26日(火)には全九国生と教職員約1800名が一堂に会し、池田信太郎選手と潮田玲子選手を激励する壮行会が開かれました。校長、生徒会、旧顧問、バドミントン部男女の代表からの挨拶、チャリダーや応援団からのエールがあり、それぞれの選手のロンドンオリンピックにかける思いを聞かせていただきました。国旗にみんなで書いた寄せ書きを渡した後は、減多に撮れない各選手とのツーショット写真を撮る先生や、報道陣のインタビューが行われました。2人が当時の先生との久しぶりの再会を懐かしむシーンも。



ウェイトリフティング

Weight Lifting

太田 和臣 選手 (2009年大学卒業：九州国際大学職員)



重量挙げ男子105キロ超級で日本記録を持つ太田和臣選手。九国大のウェイトリフティング部は全国トップクラスで、今年も複数の階級で、全国大会優勝を果たしました。

男子105キロ超級で13位の大健闘！
本学事務職員の太田和臣選手が出場したウェイトリフティング競技男子105キロ超級は、日本時間の8月7日(火)23時30分からロンドンエクセル会場で行われ、惜しくも自己記録である日本記録(トータル410キロ)には及ばなかったものの、トータル400キロ(スナッチ185キロ、クリーン&ジャーク215キロ)を記録し、13位と大健闘しました。当日はネット生中継による学内応援を実施。大学関係者や地域の方など総勢約160名が応援に駆けつけ、スクリーンに選手の姿が映し出されると「太田コール」が沸き、熱く盛り上がりました。帰国後の報告会で「オリンピック会場では温かい声援を受けて大変感動した。今回のオリンピック出場によって、ウェイトリフティング競技の裾野は広がったと思う。この経験を次回に活かしたい」と、熱く語った太田選手。4年後のオリンピック出場への強い意欲を感じました。



Japan

全国大会出場おめでとう！

University

自己新記録の更新や入賞といった結果を残したウエイトリフティング部、九州大会でアベック優勝は逃したものの見事に全国大会出場を決めたバドミントン部など、今年も話題の多い九州国際大学の運動系サークル。2012年4月以降の全国大会出場レベルの活躍を集めました。



◎ウエイトリフティング部

第58回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
第24回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会
男子62kg級／優勝 高尾宏明
女子53kg級／優勝 柳田瑞季
第9回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会
男子62kg級／優勝 森蔵寛
男子85kg級／優勝 中津一晃
男子+105kg級／準優勝 下村裕太



◎バドミントン部

第61回九州学生バドミントン選手権大会
男子団体／優勝(全国大会出場決定)
女子団体／準優勝(全国大会出場決定)
男子シングルス／優勝 森田浩平
準優勝 松本剛
3位 大塚悟司
男子ダブルス／優勝 松本剛・森田浩平
女子シングルス／準優勝 井上樹理
3位 吉村裕那
女子ダブルス／準優勝 井上樹理・吉村裕那



◎硬式野球部

平成24年度
九州六大学野球
春期リーグ戦／準優勝

◎バスケットボール部
第62回九州地区大学
体育大会／第3位



High School

付属高校には体育系・文化系合わせて40近いクラブ活動があり、毎年たくさんのクラブが全国大会へ出場し、活躍しています。今年も8つのクラブで33人もの生徒がインターハイ出場を果たしました。

■全国高等学校総合体育大会 (インターハイ)



◎陸上部／個人：100m 堀田明孝、小椋直樹
1500m 市田拓海(5位入賞)
走高 小林香南子



◎体操部／団体戦29位：成田周平(117位)、
春山尚輝(181位)、森功輝(124位)
山内亮(268位)、
今坂正吾、高山蒼
個人戦：平圭一郎(222位)



◎バドミントン部(男子)／団体戦ベスト8：山元渉平、
松山広豊、米持雄貴、馬場湧生、中里大帆、多賀教司、
水谷希純、西坂昇
◎バドミントン部(女子)／団体戦ベスト8：中村麻裕、
金森望、西村美幸、伊東歩雪、松岡英美、西尾千空、
寺田桃香、里見明日香
◎ウエイトリフティング部／豊島将大
◎水泳同好会／個人：100m背 塩谷康允(5位入賞)、
200m背 塩谷康允
400mメドレー 高野菜奈

◎日本ジュニアゴルフ選手権大会出場
ゴルフ部：小原井篤(72位)
◎全国高校女子ウエイトリフティング選手権出場
ウエイトリフティング部：足立咲輝、三苔琴乃

Junior High School

8月20日から全国バドミントン大会が千葉県船橋市で開催され、付属中学校からは女子団体戦、個人戦女子ダブルス、個人戦女子シングルのそれぞれの部が出場。団体戦でベスト4に入るなど、良い成績をおさめました。出場する選手だけでなく、応援や準備、サポートと、部員一丸となり目標の「全国制覇」をめざして奮戦。惜しくも目標には届きませんでしたが、これからも目標を常に高く持ち、努力していきます。応援ありがとうございました。

■第42回全国中学校バドミントン大会(8月20～23日)

◎団体戦

女子：ベスト4(平成21、22年度に続き3度目)

◎個人戦

女子ダブルス：ベスト8(重田美空・石橋舞組)(3年生)
女子シングルス：ベスト16平野紗妃 [1年生]



■第41回九州中学校バドミントン競技大会 (8月6・7日)

◎団体戦

男子：ベスト8

女子：優勝(全国大会出場)

◎個人戦

男子ダブルス：ベスト8(川口寛裕・河野敦紘組)

女子ダブルス：優勝(重田美空・石橋舞組)

(全国大会出場)

ベスト8(木村有沙・向琴音組)

女子シングルス：優勝 平野紗妃(全国大会出場)

ベスト8 縄田佳子

1930年の開学以来、北九州市の人材育成に努めてきた九州国際大学。「学生一人ひとりを成長させる」という教育目標を、実現するための取り組みを聞きました。

生涯を通じての 生活基礎力を育てたい。

九州国際大学学長 堀田泰司



profile / 1975年八幡大学(現九州国際大学)法経学部講師就任。以後、助教授、教授、大学院法学研究科教授、九州国際大学副学長を経て、2011年九州国際大学学長に就任。2008年福岡県弁護士会弁護士に登録。

地域安全マップづくり



実際に犯罪の減少に効果が出ていると話題の「地域安全マップづくり」。他の大学に手法を教えるなど、九国大の法学部が中心となって北九州市全体に取り組みを広げつつあります。

アクティブ・ラーニング



少人数のグループに分かれて討論をし、一つの結論を導いていくアクティブ・ラーニングで、自発性や積極性を育てています。九国大には専用教室が整備されており、ゼミを中心に活用されています。

入門ゼミ



全員が必ず所属する1年生の「入門ゼミ」は、基幹教育の核。友だちをつくり、「考える」ことが中心の大学の学びに慣れることが目的で、研修旅行やパーベキュー大会などのイベントもいっぱいです。

全員に基礎学力を身につけさせる九国大。

時代や社会の変遷に合わせて、大学にも大きな変化が求められています。今の大学は、やる気のある学生だけに高度な専門知識を授けなければいけません。むしろ入学した全ての学生を育て、自立した人生を送ることができ、力をつけて卒業させる。それが九国大の使命だと考えています。そのため本学では、人間の身体でいう体幹、社会人としての教養と基礎学力をしっかりと身につけさせるための「基幹教育」に力を入れています。

基幹教育において大切なのは初年度教育です。九国大では1年生から全員がゼミに所属します。1クラスは20名前後。そこに担当教員と副担任、さらにスチューデントアシスタントと呼ばれる先輩がゼミを受け持ち、高校のクラスより少ない人数、しかも手厚い指導のなかで大学の勉強の基礎づくりを行います。大学に入ると、多くの学生は戸惑います。クラスがないから、休み時間を過ごす場所がない、友達もできない。それは学校に行こうという気になりません。

九国大の入門ゼミは、まず学生に居場所を与えること。そして難

しい本の読み方や資料の調べ方、まとめ方といった、学習方法を学ぶ場です。ここで十分に慣らし運転ができれば、あとの成長は速い。実際に初年度教育は、成績の向上や退学率の減少など、目に見える効果が上がっています。

体験型学習や留学。

経験が学生を大きく育てる。

私たちは学生をどんな外に出しています。実社会を現場にした体験型学習は、チームワークやリーダーシップ、実践力といった社会人としての基礎力を育みます。たとえば法学部では3年ほど前から「地域安全マップづくり」を行ってきました。地元の小学校や地域住民、警察署と連携して、危険な場所と安全な場所を書き入れて、地図をつくるフィールドワークですが、そこで学生たちは地域とのつながり方や社会貢献の大切さを学んでいます。経済学部では農村での田植えや稲刈り体験を行う、地域づくりのゼミがあります。農家の人と直接ふれあうことで、農村が抱える課題を明らかにし、解決策を探るためです。また国際関係学部では学生の視野を広めるために、海外留学や研修を積極的に後押ししており、1年間で50人近くの学生を海外へと送り出しています。こうした経

験を積み重ねることによって、学生は驚くほど伸びる。しっかりと、顔つきまで変わってきます。

入学前から卒業後まで一貫したサポート。

この春、学習支援の場所「スタディスペース」をつくりました。講義のない教員が待機しており、学生からの勉強の質問や悩みの相談などに応じるというものです。従来の「オフィスアワー」をオープンに、利用しやすくなったので、学生からの評判も上々です。

「学生一人ひとりを、一から育てる」。その教育目標を達成するため、こうしてさまざまな改革に取り組んでいるわけですが、私はこうした支援を入学前から、また卒業後も一貫して行っていきたいと考えています。今は本当に社会状況が厳しい。新卒の離職率の高さもたびたびニュースになります。卒業後も何か困ったことがあれば、いつでも相談に来て欲しい。キャリア支援室のサポートなども、どんどん活用してください。『エンロールメント・マネジメント』と呼ばれるこうした取り組みをきっかけに、人がつながり、地域がまとまっていく。そうした地域の活性化も、九国大の大きな役割の一つだと考えています。

農村体験



地域に役立つ人材を育成している。経済学部の地域づくりコースでは、田植えや稲刈りを実習で取り入れています。現場での観察や聞き取りから、地域活性化の方策を探っていきます。

スタディスペース



レポートの書き方や講義中にわからなかったことなどを、先生にすぐに聞ける学習支援の場所です。講義のない先生がスタンバイ。必要であれば専門の先生にアポイントをとってくれます。

学生フリースペース



キャンパスの中心である2号館1階に、スタディスペースと隣り合うかたちで新設されました。勉強スペースとして、またランチやお茶を楽しむ場所など、好きなスタイルで楽しめる自由空間です。

九国のユニークな教育、
がんばる人を紹介します。

Junior High School

『仲間づくり・自分づくり・心づくり』が合言葉。



1日目

天気はあいにくの大雨。体育館での集団行動を終えた後は、外での野外調理です。天候が雨だったら中止になる野外調理でしたが、雨も止み、なんとか実施することができました。全て自分たちの力で作りあげたカレーは、格別の味だったでしょう。

毎年1年生を対象に実施されているプログラムが、今年も7月4日(水)〜7月6日(金)の間、「英彦山青年の家」で行われました。中学校に入学してきて初めての宿泊研修です。

自然体験教室



机上では学べない感動が、人を成長させる。九国の学びの、大きな特長である。体験学習のレポートをお届けします。

九国の体験型学習

High School

多彩な交流で、国際性を育てる。

語学研修

付属高校の国際コミュニケーションクラスでは、多彩な国際交流を通して、時代をリードする国際性を育てるため、1年次の終わりにホームステイ研修を行っています。2011年度は、2012年3月15日〜27日の13日間、オーストラリアのクイーンズランド州にあるブリスベンを訪れました。2年次以降の留学に備えるため、ホームステイを通じて異文化理解に励みました。ホームステイでは、積極的に話す態度や自分のことは自分でやるなど、外国での家庭生活のルールを学びました。この研修を通して、生徒たちは国際的な視野を得ることができ、ホストファミリーとの絆を今後も大切にしていきたいことを胸に刻みました。
(付属高校教諭 桑野 健太郎)

University

広い視野と語学力を身につけています。

交換留学

1年間、国立インドネシア大学に留学しています。インドネシアを選んだのは、発展途上国の熱さをこの目で見たいと思ったから。来る前の印象とは違い都市部は近代的で、現地の人の笑顔の多さに国の豊かさを感じるなど、体験するとすべてが違って見えてきます。韓国の留学生も多く、いろいろな国の学生とふれあうことで自分の考え方が広がったように感じます。大学の専攻が法学だったので、今後はインドネシアの民法についても学んでいきたい。法学部や経済学部の学生にも留学の機会があるのは、九国大の特長。将来は語学を活かして、インドネシアに関わるような仕事に就きたいと考えています。

(九州国際大学
法学部3年生 大田 政紀)



3日間だけの宿泊研修ではありませんが、小学生と中学生の違いを考える非常に大事なプログラムです。この体験学習を活かした、1年生のさらなる成長が期待されます。
 (付属中学校講師 吉川 剛司)



3日目

いよいよ退所の日です。この日は集団行動の発表会があり、どのクラスも一生懸命練習、発表に取り組みました。全てのプログラムが終わった後の生徒の満足そうな表情が忘れられません。



2日目

この日の天気は曇り、雨こそ降っていませんが、風が強く、この日実施予定の英彦山登山が中止になりました。急遽近くの奉幣殿までのウォーキングとなりましたが、急な階段、突然の大雨と、自然の厳しい面を体験しました。しかし生徒は、仲間と声を掛け合い、しっかりと乗り越えていきました。



写真右) ジャカルタのシンボリックな建物 Monas の前で、九国大に交換留学していたマルシャ(中)と、一緒に留学している友人。マルシャは下宿の手配や生活をサポートしてくれる、心強い存在です。
 写真中) インドネシア語の先生とクラスメイト。韓国など他の国の留学生との交流ができます。
 写真左) 休日を利用して訪れた、仏教寺院・ポロブドゥール。ユネスコの世界遺産に登録されているだけあって、その大きさで精巧なレリーフに感動しました。

の 人 扉 生

本や音楽、恩師など、先生の人生の転機となった出会いを教えてくださいました。

第1話



ろう文化

現代思想編集部 編集 青土社

※大学図書館に所蔵しています。

日本の中にある、異文化。
ろうの世界を教えてくださいました一冊。

手話に「日本手話」と「日本語対応手話」があること、知っていますか？ 前者はろう者が使うもので、後者は中途失聴者が使うもの。その一つからも「ろう」という障害について、私たちはほとんど無知であることを思い知ります。そこから生まれる、軋轢や不平等。「知るほど、私が伝えないと！」という使命感が強くなってきたと、福島先生は語ります。観光を学ぶため社会人入学した立教大学で手話サークルを立ち上げ、ろうをテーマにした手話演劇に取り組みます。「中途失聴者の友人の家に行く」と、小さなぬいぐるみや丸めたガムテープがたくさん置いてある。人を呼ぶ時に投げて知らせるためなんです。そんなエピソードが盛り込まれた劇は評判となり、5作まで続きました。「ろう文化」はその台本をつくる際の参考書となった一冊。「異文化を理解しようという態度はとても大切ですが、私にとってはこの本がその扉を開き、世界を深めてくれました」。



九州国際大学国際関係学部教授

福島 規子

観光ビジネスコースで、ホスピタリティ・マネジメントや観光ビジネス論を担当。専門は対人サービスにおけるホスピタリティ。相手の気持ちを察する「配慮行動」を理論的に理解し、身につけるための方策を学んで、人をマネジメントできる人材を育成している。

学校法人 九州国際大学
平成23年度決算状況

資金収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:千円)

Table with 4 columns: 収入の部, 予算, 決算, 差異. Rows include 学生生徒等納付金収入, 手数料収入, 補助金収入, etc.

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために確保した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払いとして前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。

【語句説明】: 資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【資産売却収入】

不動産、有価証券などの固定資産の売却による収入をいいます。

【前受金収入】

翌年度分の学生生徒等納付金が当年度に納入された収入をいいます。

【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは当年度の諸活動に対する収入で、前年度以前に資金の収入になったもの、および当年度の諸活動に対する収入で、翌年度以降に資金が受け入れられるものです。

消費収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:千円)

Table with 4 columns: 収入の部, 予算, 決算, 差異. Rows include 学生生徒等納付金, 手数料, 寄付金, etc.

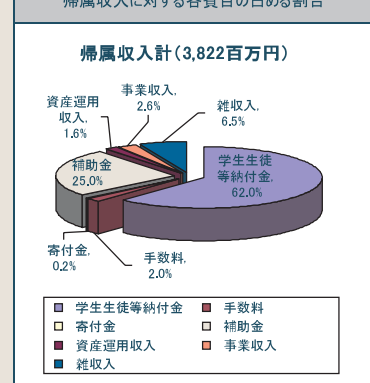
帰属収入とは、学校法人の負債にならない収入。

消費収入とは、帰属収入から基本金を組み入れた後の額。

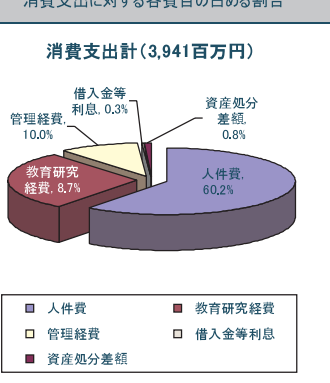
消費支出とは、学校法人が諸活動を行うために支出する費用で、消費収入により賚られる。

消費収入から消費支出を差引いた金額が消費収支差額(収入超過または、支出超過で表示)。

帰属収入に対する各費目の占める割合



消費支出に対する各費目の占める割合



【語句説明】: 資金収支及び消費収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学を条件とし、又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。

【手数料】

入学試験、転入学試験のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【資産運用収入】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入及び所有する施設の賃貸などの収入をいいます。

【事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学財団から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含みます。

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理事務や学生を募集するために支出する経費などで、教育研究以外の経費をいいます。

学校法人 九州国際大学 平成23年度 決算状況

平成23年度消費収支決算は3億4,815万円の消費支出超過となっています。帰属収入は、38億2,234万円となり、予算比で1,995万円の増加となりました。

一方、消費支出は、39億4,123万円となり、予算比で7,358万円減少しております。また、前年比では、2,009万円の支出削減となっております。これらは、前年度に計上した資産処分差額の減少が主な要因です。

【資金収支計算書】

当該会計年度に行った諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出の年末を明らかにするものです。

【消費収支計算書】

当該会計年度の消費収入と消費支出の内容及び均等の状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表すものです。

【貸借対照表】

決算日(年度末)における資産、負債、基本金および収支差額を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。

【語句説明】: 消費収支計算書にのみ表れる主な科目

【資産売却差額】

不動産や有価証券などを売却し、その売却収入が帳簿残高を超えた場合、その超過額をいいます。

【帰属収入】

学校法人のすべての収入のうち、負債とならない収入(学生生徒等納付金、手数料、寄附金、補助金など)をいいます。

【消費収入】

消費収入は、消費支出に充当できる収入のごとで、帰属収入から基本金組入額を控除して算出されるものです。

【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。

【第1号基本金】

設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。

【第2号基本金】

第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。

【第3号基本金】

基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。

【第4号基本金】

恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

【資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却し、その売却収入が帳簿残高を下回った場合、その差額をいいます。

【消費支出】

消費支出は、人件費、教育研究経費、管理経費、借入金利息などの当該年度に発生した費用です。資金支出のほかに、退職給与引当金繰入額や減価償却額が計上されています。

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位:千円)

Table with 4 columns: 科目, 平成23年度, 平成22年度, 増減. Rows include 固定資産, 有形固定資産, 土地, etc.

校舎・寮・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。

教育研究のために使用される機械設備の額。

決算日(3月31日)における未収額。

返済期限が1年以上の借入金。

平成23年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見込み額。

返済期限が1年以内の借入金。

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

財産的な基礎を確保する観点から、本学が安定的かつ永続的に経営していくために必要な額。

【語句説明】: 貸借対照表に表れる主な科目

【有価証券】

国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年をこえて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。

【〇〇〇引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。

【現金預金】

現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。

【借入金】

「長期借入金」は、返済期限が年度末後1年をこえて到来する借入金で、「固定負債」に計上します。「短期借入金」は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で、「流動負債」に計上します。

【預り金】

給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の帰属収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【消費収支差額】

当該年度以前における各年度の消費収入から消費支出を差引いた差額の累計額です。消費収支計算書において、消費収入のほうが消費支出より多い場合その差額を「消費収入超過額」といい、逆の場合は「消費支出超過額」といいます。

【企業会計と学校法人会計の違い】

企業会計では、会計によって主として収益と費用を正しくとらえて、営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産、負債及び資本の状態を知ることにによって、より収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国や地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とするとはできません。

以上のことから、学校法人会計の目的は、収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、法人の永続的発展に役立てようとするにあり、その目的を達成するため、計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表)等を作成することになっています。

消費収支関係財務比率

Table with 6 columns: 比率, 算式, 平成20年度, 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 評価. Rows include 1 人件費比率, 2 人件費依存率, etc.

(注) 1. 財務比率の評価は、個々の学校法人に適用する場合に内部事情等を個別に判断しなければ一概にその良否をいえないが、財務比率の高低いの評価を以下のとおりとしています(私学事業団・平成23年度「今日の私学財政」参照)。

貸借対照表関係財務比率

Table with 6 columns: 比率, 算式, 平成20年度, 平成21年度, 平成22年度, 平成23年度, 評価. Rows include 1 固定資産構成比率, 2 流動資産構成比率, etc.



九州国際大学は、大学基準協会の定める
大学基準に適合しているとの認定を
受けています。
(認定期間は、2015年3月31日まで)

学校法人九州国際大学

- 大学 法学部
- 付属高等学校 難関クラス/S特進クラス/特進クラス/準特進クラス/進学クラス/国際コミュニケーションクラス/トピアスリートクラス
- 付属中学校
- 大学院 法学研究科・企業政策研究科
- 大学院 法学研究科・企業政策研究科
- 国際関係学部 国際関係学科
- 経済学部 経済学科・経営学科
- 法律学科/経済学部

大学



ことし最後のチャンス！ 平成24年10月13日(土) 14:30~16:30

オープンキャンパス<事前申込必要>

総合ガイダンス/各学部進路相談コーナー/キャンパスツアー/保護者向け説明会/推薦入試の面接対策講座

お申込みは/ TEL. 093-671-8916 FAX. 093-671-8995 admission@kiu.ac.jp

盛り上がっていきこう！

大学祭「橋祭」平成24年11月10日(土)11日(日)

今年のテーマは「ライラック(友情)」

付属高校



入試ワンポイントアドバイスも実施！

オープンスクール 平成24年11月10日(土) 10:00~12:30

学校説明&保護者ガイダンス/クラブアトラクション/入試ワンポイントアドバイス など

無料送迎バス/ JR枝光駅発8:00から20分毎に運行

お申込みは/ TEL. 093-671-8443 FAX. 093-671-9028 959h@kif.ed.jp

付属中学



小学5・6年生および保護者対象

授業を見てみよう！

秋の学校見学ツアー 平成24年11月17日(土)

●学校説明10:00~10:40 ●授業見学・校内施設見学10:50~11:40 ●個別入試相談11:40~

お申込みは/ TEL. 093-671-9001 月~金曜日/ 8:30~17:00

ホームページ <http://www.kif.ed.jp/>

中学校ホームページ内の「学校見学ツアーのご案内」からお申込みください。



学園広報誌 九国の扉 ~キョウトビ~
vol.10 / 2012
発行日 / 2012年9月30日
■発行 学校法人九州国際大学
■学園広報誌作成委員会
〒805-8513 北九州市八幡東区平野2-5-1
TEL. 093-671-8900 FAX. 093-671-9032